

## 20190927 体験入学挨拶

みなさん、こんにちは。お忙しい中、体験入学に来ていただきましてありがとうございます。

本校の校長の井瀬といいます。よろしくお願いいたします。

今の社会の次に目指している Society5.0 という社会の話をしたいと思います。5.0と言うように、1.0の社会からあります。1.0は狩猟の社会です。2.0は農耕社会、3.0は工業社会、4.0、今の社会です、これを情報社会としています。

みなさんはスマートフォンをお持ちだと思います。これを使って、いつでも、どこでも、誰とでも情報をやり取りされていると思います。今年は特にコロナの影響で、ビデオ通話がいろいろなところで使われるようになっていきます。

こんな便利になって、さらに何を目指しているのでしょうか。

例えば、今は、天気の情報、交通の情報、農業の情報、林業の情報、水産業の情報、さまざまな工業の情報、お店の情報、各家庭の情報がそれぞれ存在しているが、それらはつながっていません。

これらを全部つなげたら、これをIoTと言いますが、全部つなげたらどんな社会ができるだろうか、と考えたのが、Society5.0と言っている、超スマート社会です。スマートというのは賢いという意味です。

つなげて得られた膨大なデータ、ビッグデータといいます、このビッグデータから、ほしい情報を取り出すだけでなく、今まで気が付かなかった情報が得られたりするようになります。ここで使われる技術が AI(人工知能)とか DS(データサイエンス)です。

政府は、高等教育、大学とか高専の教育を言いますが、高等教育を受ける全ての学生が、文系、理系を問わずです、AI、数理、データサイエンス(DS)を学ぶカリキュラムをつくれと言っています。AI、数理、DSをこれからの“読み書きそろばん”と位置付け、これらを学んで、新しい価値を創造する人、新しい知見を見つける人、イノベーションを起こす人になって日本を引っ張ってくれと言っています。

高専は、全高専を挙げてこれらに取り組んでいます。本校はこれらを支えているサイバーセキュリティ教育の中核拠点校として全高専を引っ張っています。

Society5.0 の社会は、今の情報社会より、もっと情報を高度に扱う社会になりますので、セキュリティの教育が非常に重要になってきます。それで、AI、数理、データサイエンスの教育に先駆けて、サイバーセキュリティ教育に着手し、中核拠点校として全高専にセキュリティ教育を展開しています。

Society5.0 の社会は、人が人間らしく生きる社会となることを目指していますが、その社会を使う人になるのか、その社会と一緒に作っていく人になるのか、私は一緒に作っていく人になってほしいと思っています。

これからの“読み書きそろばん”である、AI、数理、データサイエンスとそれを支えるセキュリティ、これら全部の理論と技術を使えるところまで身につけられる高専を進学先と考えていただければ嬉しいです。

これらの技術は、高等教育機関を卒業すれば当たり前にもっていなさいという技術です。全員がこれに特化しなさいという意味ではありません。専門はこれまでと同様に身につけるのに加えて、AI・数理・データサイエンス・セキュリティを身につけて、これらを専門に活かしてくれと言っているのです。

本科 5 年生の進路については、今言ったような能力を身につけていますので、就職はみなさんもお存じのように引っ張りだこです。

実は、進学に対しても、大学から引っ張りだこで、大学の 3 年生に編入して行っています。有名な大学でも推薦で入学する学生もいます。高専で基礎をしっかり身につけていますので、大学でいくらでも伸びると、大学の先生から太鼓判をいただいています。大学の 1 年生から上がってきた学生の手本にしたいと言っています。

高専はこういう学校です。

本日は、午前中の学校概要の説明、施設・設備の見学でお疲れのところと存じますが、本校をさらに理解していただくために、入学者選抜の方法等も含めて、学校説明をさせていただきたいと思えます。

また、本校に対する要望や疑問点など、忌憚のないご意見をいただき、本校の教育改善に活かしていきたいと思っていますので、お帰りの際にはアンケートへの回答をよろしくお願いいたします。